

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリー：変化をもたらす



少年・少女の夢再び

Rotary : Making a Difference

RI 会長 イアン H.S. ライズリー

2017~2018

富津中央RC会長 石渡 鋼

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2517 第26回例会 2018. 2. 1 曇

点 鐘：石渡 鋼 会長

進 行：大網庄一郎 副SAA

ソング：君が代、四つのテスト

会長挨拶

石渡 鋼 会長



本日も大変な寒さの中での例会出席、ご苦勞様です。もう今日は2月1日早いものです。インフルエンザが流行っているとのこと、皆さんお気を付けください。先週の第4分区分IMには多くのご出席、ご苦勞様でした。例年IMは2月中半ころ、これが終われば春近しと、思ったものですが、今年は一ヶ月早く、陽気も悪く、春はじっと待つしかないのでしょうか。その折、前ガバナー補佐小野恒靖会員への、感謝状を預かりましたのでここでお渡しいたします。

さて今日の例会は、予定では2月の結婚誕生祝の予定でしたが、これを次週例会に送り、代えて先月ご逝去されました朋友、故黒川治雄会員の追悼例会とさせていただきます。昨年の夏でしたか、ご病氣療養中のころだと思いますが、例会に来られ、

自らの病状や、特効薬といわれているところの「オプジーボ」のこと、そして最後に元気になって例会に戻ってくるお話をされましたのに、あのときは痩せては居られましたが、目の輝きは失ってはいなかったのに・・・真に残念であります。

1月の23日には会員皆さんの弔意を携えて通夜に行きまいりました。その夜はとて強く冷たい海風が吹き、多くの弔問客、我がクラブ会員と行き交うなか、式場そばの金谷駅の電線がヒューヒューと鳴って、これが黒川さんの最後の吐息かと心するほどでした。

今日この例会で、ご親交の深かった幾人かの方に、故人との思い出を語って頂きます。唐突なお願ひですがよろしくお願ひいたします。

前ガバナー補佐に感謝状贈呈



前年度のガバナー補佐の功績に対し、IMにて内田ガバナー補佐より授与された感謝状を前ガバナー補佐の小野恒靖会員に改めて贈呈。

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川旅館 Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>

Mail home@futtsuchuo-rotary.org



故黒川治雄会員をしのぶ卓話 黒川さんの思いで

神子 恒 会員



私と黒川さんとの出会いは、金谷観光協会でした。ロータリーの仲間の大先輩の鈴木克彦さんに連れられて、鋸山の観光開発をどうするかの時でした。

観光協会のメンバーさんたち数人と、鈴木さん、黒川さん、私を含めた一隊で鋸山のいくつかの登山道を歩きましたが、それは険しい、整備のあまりされていない道を、当時の先輩方々のその歩きの軽やかさに驚いたものです。何故なら、それには理由がありまして、整備されていない道路を現況にするまでには大変なボランティア労力の集成が必要であることを知ることになるのです。

当時の黒川さん曰く、「私はこのところ、毎日、一度は山に登っています。」とのこと。私が登山道の途中で、へばり気味、息を吐き出しているのに、この大先輩たちの元気で、ケロリとしている姿を見て、メンバーにとっては今日の登山など、軽い足慣らし程度で、まだまだだと、鋸山中腹から、東京湾金谷フェリー港を下に臨みながら無言で言っているような気がして、鋸山観光開発への並々ならぬ意気込みを私が、強く実感した時でした。

私は自分自身の得意分野である音楽をこの方々との交流で活かし、登山道の途中、石切り場跡の広場を整備(その形状が野外コンサート場の形を成していることを利用)し、ジャズコンサートの企画開催を観光協会会長鈴木克彦さんに提案をいたしました。その結果、黒川さん発案による「天まで響け、♪鋸山コンサート」がスタートすることになり、その後10年ほど、皆さんの協力を頂き、継続する事業になりました。

このように元気で、体のバランスの良いスポーツマンの黒川さんが、熱く俺の目を見ろと語り始めるとき、いつも、今日は何の話が聞けるのか、何のお誘いを頂けるのか期待感いっぱい、ドキドキ、ワクワクする私でした。

先輩が旅立たれました。年上だから、先輩だからと言って、何故そんなにお急ぎになるのか。私は今一度、「神子さん、俺の目を見ろ。よく聞きな！」と言う黒川さんの優しく熱い言葉を聞きたい。

鈴木克彦 会員



黒川さんとは金谷出身同士で古くから仲良くしていた間柄です。黒川さんは教育関係以外にも地域活性化に多大なる貢献をいたしました。特に鋸山登山道路の整備を3年半かけて、私と一緒に進めましたのは、特筆すべき思い出であります。当初は整備に必要な経費を市にかけあっても、予算をつけてもらえず、まずは地元の人たちでやらねばと言って、黒川さんは、率先して金谷観光協会をリードし、まずは、車力道を整備することから始めました。

地元の熱心な活動が、市から県に伝わり、更には国までを動かし、国から3000万円の補助金を得て、今の登山道路を完成することができました。

その後、「天まで響け、鋸山コンサート」を中腹の広場で開催するなど、この登山道の整備が今日の金谷観光の礎になったことは論を待ちません。当時の努力を振り返り、まさに「為せば成る」を実感いたしました。

鈴木会員の話のを要約して纏めたものです。

(文責 須藤)

椎熊邦広 会員



黒川さんと私は、昭和48年7月1日に天羽ロータリークラブに入会いたしました同期です。入会した会員は当日、5人でした。小宮和彦さん、川名市太郎さん、能城正巳さんでした。例会場は万才館でした。重田先生、笹生先生等が先頭になって7クラブを指導しておりました。黒川さんとは、旅行、ゴルフ等で、国内、海外に行ったことを思い出しております。年齢は私より10日先輩でした。

心よりご冥福をお祈りいたします。

幹事報告

平野安照 幹事



1. 2018年2月のロータリーレート:1ドル=110円
2. 米山記念奨学委員会より新規奨学生について
のお願い
内容:新規奨学生の世話クラブ及び奨学生カウンセラーの引受可否
報告締切:2018年2月15日 ガバナー事務所
宛 FAX
3. 米山記念奨学会より50年のあゆみ記念誌をクラブ用に2冊購入
4. 富津市少年野球連盟より RC 旗争奪少年野球大会結果報告受領(回覧)

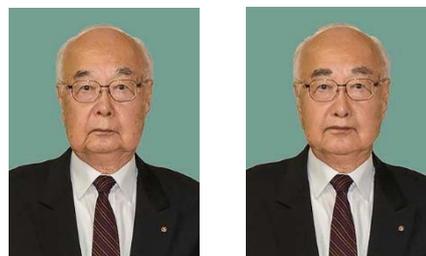
5. 米山記念奨学会より確定申告用領収証受領、配布
6. ロータリー日本財団より確定申告用領収証受領、配布
7. 木更津 RC、木更津東 RC、上総 RC、君津 RCより週報受領(回覧)
8. 配布物:ガバナー月信 2月号、ロータリーの友 2月号

年頭所感

志波 克 会員



50周年記念誌の「刊行の言葉」に載っている自分の写真を見ている内に一寸修正したくなり、やってみたのがこの写真です。



Before

After

眉を書き足し、垂れたほほを上げ、鼻の下を締め、あごを伸ばし、皮膚の老人斑を減らし、ついでにネクタイの曲がりも直しました。

BeforeとAfterのどちらが良いとは言えませんが、Afterの方が若く見えると思います。絵心があれば、もう少しいい顔に修正できるのですが、私的には処理の限界です。逆に言えば、私がしたいと思うことはアプリの力で何とかできるという事です。

実は、50年誌の編集作業で30年誌を読み、そこに書かれた私の近況文にパソコンで画像を扱ったり、ホームページを作ったりしたいとあり、それが20年の歳月を経て曲がりなりにも叶えられていたと

言いたかったのです。

20年もすればあまり努力しなくてもある程度望みが叶う事が分かったところで、今年の抱負ですが、街の小説学校の生徒さんが芥川賞や直木賞を受賞したと聞いて、小説も良いなと思いましたが、足が痛くて通学が無理そうなので、これは止めました。

もう一つの話、81歳の女性がスマホのアプリを作ってアメリカに招待されたそうなので、86歳なら南米辺りに招待されるかなと、とりあえず iPhone アプリ作成入門書を買ってみました。

ところがこれにはマックのパソコンが必要とのことで、少し悩んで居るところです。

これからじっくり考えてどうするか決めます。

ニコニコ BOX

山下 厚 親睦担当部員



石渡 鋼 黒川会員のご冥福を祈り
大網庄一郎 孫娘が芸大付属高ピアノ科に合格
小野恒靖 IM 感謝状、卓球支援有難う
高橋裕之 抜粋のつづりを頂いて
岡田良弘 インフルエンザにかかりました。

出席報告

平川恵敏 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	34/33	22	11	3	75.76%
前回	34/25	18	7		72.00%
前々回	35/32	22	10		68.75%

ご案内

栗原典子 会員



栗原会員より、以下の案内がありました。

2月21日(水)22時にテレビ東京が放映するドラマが栗原会員経営の「スナックイブ」で撮影されました。皆さんお馴染みの「イブ」の中でどのようなドラマが展開されたのか是非ご覧くださいとのことです。

理事会報告

議案 2017—18年度2月以降の例会プログラムについて

編集後記

今週は、先月末に逝去された黒川会員の追悼例会となりました。黒川さんの思い出の中で、鋸山の登山道整備が語られております。全国的な観光名所としての鋸山が今日あるのは、黒川さんたちの登山道整備が如何に貢献しているかを改めて知る思いでした。

尚、日本経済新聞1月27日(土曜、日経プラス版)に「外国人がゆくディープジャパン」が紹介され、鋸山が全国数ある名所の中で、第2位を占めていたのには驚きました。

因みに第1位は、高野山奥の院(和歌山県)、第3位は、祖谷かずら橋(徳島県)、第4位は、三溪園(横浜市)、第5位は、貴船(京都)、第6位は高千穂峡(宮崎県)以下15位まで紹介されていました。

鋸山が全国的な知名度になっていることを私たち富津市民は理解し、富津市発展の観光名所として今まで以上に大事にしたい思いに駆られました。

(すどう)